

- ASEAN各国の現状分析、改善検討を行うとともに、日本の舗装維持管理技術を含むベストプラクティスを共有し、道路舗装の品質向上を通じて、ASEAN地域の連結性強化および気候変動の緩和に貢献することを目指す。

背景

- ASEAN地域の経済成長に伴う大型車の増加により、頻繁に舗装が損傷している。さらに、道路建設や維持管理から排出される温室効果ガスも課題となっている。

目的

- 道路舗装の品質向上を通じたASEAN地域の連結性の強化および気候変動の緩和に貢献。

研究の概要

- 国際回廊における舗装の維持管理の重要性を再認識し、点検、診断、補強、補修に関して、技術参考資料を作成
- 技術参考資料を作成するため、以下の調査を実施。
 - ASEAN各国の道路舗装の維持管理に関する調査
 - 舗装維持管理のベストプラクティスの収集

取組方針

- 2024年から2026年まで毎年2回専門家会合を開催。
- 2026年秋の日ASEAN交通大臣会合に報告書を提出

舗装の損傷事例

ベトナム



ベトナム



タイ



ベストプラクティスの例

- 舗装再生技術
損傷した舗装を再利用し、新しい舗装を作る技術
(高い技術力を要し、日本は再生率、再生アスファルト混入率ともに世界トップクラス)
- 改質アスファルト
アスファルトに改質剤を添加し、用途に応じて性能を向上させる技術(わだち掘れ対策、耐久性向上等)



路上再生の様子



改質アスファルト混合物